

## 「第5回 異業種交流会（ワイン会）報告」

### 山梨工業会関西支部

令和4年7月24日（日）、大阪中之島のリーガロイヤルホテルにて第5回異業種交流会（第4回はコロナ禍のため中止）を開催しました。令和元年の第3回開催以来、3年ぶりとなります。

今回は、山梨大学大学院総合研究部附属クリスタル科学研究センター 田中功教授(山梨工業会専務理事)をはじめ、日本ソムリエ協会 岡昌治名誉会長、山梨県大阪事務所、山梨大学工学部後援会、生命環境学部後援会の方々を含む総勢38名のご参加となりました。

第1部は、2階「楓の間」にて、興水支部長の開会挨拶から始まりました。コロナの影響もあり、なかなか開催できませんでしたが、これからも継続して開催していきたいとお話がありました。続きまして泉理事長から、講演会の講師である澤村様の経歴をユニークな関西弁で紹介されました。参加者の皆様のお顔もほころび、会場の雰囲気が一度に和みました。

講師の澤村様は、フジッコワイナリー株式会社代表取締役社長で、山梨大学ワイン科学士でもあります。テーマは「日本ワインにおける山梨県のテロワールについて」でした。テロワールとは、ワインの原料となるブドウが栽培される土地の個性と解釈するのでしょうか。栽培されたブドウの環境は、日照時間、昼夜の温度差、降雨量、風通し、地形、土壌などによって異なります。シャルドネやピノ・ノアールは、テロワールの影響を受けやすいブドウの品種のようです。収穫されたブドウの産地を知って、同じ土地の農産物やチーズと合わせれば、食卓はもっと楽しくなります。ワインは、栽培家、醸造家、料理人そしてお客様をつないで楽しんでいただけるもので、人々の生活に彩りを与えるものです。などワインの楽しみ方について、テイastingをしながらの有意義な講演会となりました。



フジッコワイナリー株式会社  
澤村貫太社長 ご講演



講演会の様子

第2部は、2階「ダイヤモンドルーム」に移動し、山梨県大阪事務所 広瀬信吾所長様のご挨拶、岡昌治名誉会長の乾杯のご発声により懇親会を開始しました。



懇親会の状況

懇親会では、澤村社長様からのたくさんのワインの差し入れとリーガロイヤルホテルのワインに合う美味しいおつまみを盛りだくさん用意していただきました。山梨にまつわるクイズや初参加の方の自己紹介に加えてワインのプレゼントもあり、いつになく和やかで華やかなひと時を過ごす事ができ、あっという間に中締め時間がやって参りました。

田中功 教授（山梨工業会専務理事）のご発声により中締めを行い、その後全員で記念撮影を行いました。忽ちのうちに2時間半が過ぎ、第5回異業種交流会は無事に閉幕、解散の運びとなりました。



記念撮影

異業種交流会は、山梨大学卒業の現役の若い方々や女性の方々、保護者の方々のご参加により、皆様に役立つような人脈を作れるように支援をする企画です。  
皆様、お知り合いの方々をお誘いの上、どうぞご参加下さい。

文責：宮坂豊光（土木 S58 年卒）

撮影：岡屋佳郎（電子 S52 年卒）